

「FLENS算数特訓」を必修にした 小学部のカリキュラム改革

手書きにこだわった

「FLENSを導入され
たきっかけはどのような
ものだったのですか？」

最初はFLENSを希望
制のオプション講座として、
4年前に導入しました。そ
れから1年後の2016年
に小学部全体の大幅なカリ
キュラム改革をする時に、授
業の中にFLENSを組み

込んで必修にしました。

「その改革はFLENS
を入れる以外にどんな改革
をされたんですか？」

一番大きかったのは、時間
割の改革です。それまでは、
理科・社会の時間が短く、
算数と国語が少し長い状態
だったんです。その弊害とし
て、教師が担当教科以外の
ものも兼務する状態になっ
ていて。例えば、国語担

もそうですが、FLENS
のようなICTツールを導
入して、業務の効率化を図
りたいという意図もあった
のですか？」

そうですね。でもFLE
NS算数特訓に関しては、
職員の負担を軽減する目的
も多少はありました。ど
ちらかという生徒の満足
度を上げるためという意味
合いが強かったです。

「手書きの部分にこだわ
られたわけですね。」

そうですね。選択式だと、特
に算数とかは勘で当たって
しまうこともあるので。ま
た、予習用の「リハトレブッ
ク」があったのも導入のきつ
かけになりました。リハトレ
ブックを使って家で事前学
習をしてきてもらって、教室
ではその確認としてFLE
NSを使って学習する一連
の流れが用意されていたの
は大きかったです。

対戦型で意欲を喚起

「最初は本科とは別
にオプション講座での
導入でしたが、必修化に
したのはどのような理由か
らですか？」

「読む蔵」は小
学部ではオプションとして
使えるので、そのコンテ
ツを中学部でも活用できな
いかを検討中です。

「読む蔵を採用した狙い
は、ほかにどんな点がある
のですか？」

やはり国語の勉強法がわ
からない生徒が多くて、文
章に触れる機会を与えたい
というのが一番でした。

「FLENSには、理科・
社会や英語のコンテンツ
もありますが、これらの教
科についてはどうでしょ
うか？」

まだ水道町校のみです
が、中学部で理科と社会の
トライアルを実施する予定
です。FLENSのように、
ひとつのプラットフォームで
どの教科の学習もできるのは、
コンテンツの提供側として
も導入しやすいですね。



上野賢一郎氏

専任制にすること

当が社会に入っていた
り、算数担当が理科に
入って教科を兼務する
機会が多くなっていたの
で、授業時間を全て揃
えて専任できる形にし
ました。



FLENS算数特訓をする生徒たち(イメージ)

なかったですね。

「小学部で、まずFLE
NS算数特訓を導入されたわ
けですが、算数特訓の一番の
特長でもある「コンテンツ」
(対戦)は使われているの
ですか？」

はい。いま15教室をネット
ワークで繋ぎ、他の教室の生
徒たちと競争をさせていま
す。同じ教室の中だけだと、
速い子は常に速くて、あの子
には勝てないとモチベーシ
ョンが下がるのですが、FLE
NSでは、ネットワーク上で
似たような成績の子を探し
てきてくれて、その子たちと
の競争になりますので、常に
高いモチベーションで取り組
んでくれています。

「成績以外では、算数の
授業に対する向き合い方
みたいな変化は見られま
したか？」

特に変化を感じたのは、
算数嫌いの子が前向きに取

算数以外の教科でも FLENSを利用

「早稲田スクールでは、
専用のオリジナルカリキ
ュラムを使ってらっしゃい
ます。これはどのような内
容なのでしょう？」



手書きによる解答に対応しているFLENSのプラットフォーム

リハトレブックは基本的
な内容が多いので、少しレ
ベルの高い問題を入れても
らっています。あと、早稲田
スクールのカリキュラムに
多少合わせるような形で、
単元の順番を入れ替えても
らいました。昨年頃から全
面的に専用カリキュラムに
なっています。

「算数以外の教科でもF
LENSを活用する可能性
はあるのですか？」

いま、中学部で「FLE
NS国語」の「読む蔵」を検討

「子園を目指す勝利主義が高校で強まり、長時間の練習が当たり前になっているのではないか」と話している。調査は2017年6~7月
に実施。運動部員の中高一生578人から回答を得た。